

探検! 都電荒川電車営業所

これからも都電荒川線を
利用してください



▲荒川電車営業所のみなさん、ありがとうございました!

都電荒川線は開業103周年を迎え、今年「都電荒川線」と命名されてから40周年です。排出ガスを出不さい都電は環境にやさしい交通機関として、高く評価されています。また、全停留場にスロープや視覚障がい者誘導ブロックを設置するなど、だれもが利用しやすいように工夫をしています。みなさんも歴史ある都電荒川線にご乗車ください。

営業所 都電の運行を見守る指令塔

都電の運行状況を確認したり、運転手さんの乗務スケジュールを管理しています。運行状況は、どの都電がどこを走っているかが画面に映し出されるので、一目でわかります。運転手さんは出発前に営業所での点呼や健康確認を行い、一日の運行を終えたら勤務報告と次回の乗務予定を確認します。また、乗車券や定期の発行、忘れ物の問い合わせなどの窓口業務も行っています。

「今、電車が出発したよ!」カメラの映像が映し出されます

▲「今、電車が出発したよ!」カメラの映像が映し出されます

▶出発前の運転手さんはモニターで走行中の都電の位置を確認しています

▶「わっ、すごい水しぶきだ!」車体の中から見ると迫力が満点

▲運行管理室を見学。「モニターで全部の都電の運行状況を確認しています」

▶大きなブラシが付いた車両洗浄機で車体をピカピカに洗います

▲「都電おもいで広場」は土・日、祝日の午前10時から午後4時まで、自由に見学できます

▶「わっ、すごい水しぶきだ!」車体の中から見ると迫力が満点

▲「都電おもいで広場」は土・日、祝日の午前10時から午後4時まで、自由に見学できます

▼車両の点検や整備を行う車両検査の様子を見学しました

▲車両の下に入り、点検ハンマーで叩いて異常がないか確認する検査を体験。案内してくれたのは荒川車両検修所の岩崎さん

雨の日は滑り止めにレールに砂をまきながら走っているんだって

定期的な検査で都電の安全運転を守る 車庫

車庫では、車両の検査や修理、整備を行っています。検査は定期的に行っていて、3日に1回行う「車両検査」、3か月に1回の「月検査」のほか、「重要部検査」を4年に1回、車両の部品を外してチェックする「全般検査」を8年に1回行います。ジュニア記者は実際に車両の下に入り、「車両検査」を体験。「3日に1回は車両の下に入り、車両に悪い部分がないか細かくチェックします」と教えてもらいました。また、1か月に2回行う車体洗浄も車庫の中から見学しました。

都電の歴史を体感できる思い出空間 都電おもいで広場

▲切符にパンチで穴を開ける車掌さんの仕事に挑戦。昭和53年頃まで行っていました

▲荒川電車営業所のおもいで広場。昭和29(1954)年にアメリカの最新の技術を導入し製造した、通称PCCカー-5500形と、昭和37(1962)年製造で引退前は通学輸送に活躍したことから「学園号」と親しまれた旧7500形を展示しています。5500形の中は展示室になっていて、都電が走る昔のまちの様子を再現した「おもいでジオラマ」や、都電にまつわる本や映画の紹介、昔使われていた停留場の表示板や乗車券を展示した「おもいでグラフィティボックス」があります。

▲「だんだん暗くなって家に灯りがついたよ!」この「おもいでジオラマ」は都電が東京中を走っていた昭和30年代のまちの、一日の様子を表現しています

▲「一番新しい停留場は「荒川一中前」なんだよ!」

▲昔の停留場の表示板や古い乗車券、都電についての本や資料を見ることができます

今年で「都電荒川線」の名がついて40周年!

▲「だんだん暗くなって家に灯りがついたよ!」この「おもいでジオラマ」は都電が東京中を走っていた昭和30年代のまちの、一日の様子を表現しています

都電の歴史を見よう! 思い出写真館

▲都電開業100周年を記念して走った花電車。ライトアップした花電車が夜のまちを彩りました

▲4色の色が華やかな8800形。イエローは1車両しかないため、見かけたらラッキー!

▲「都電おもいで広場」は土・日、祝日の午前10時から午後4時まで、自由に見学できます

▲昭和38(1963)年、現在の沼橋交差点付近を走る都電。自動車と並んで走っていた様子が分かります

▲高速道路が架かる前の、都電が走る昭和27(1952)年の日本橋。にぎやかな銀座(1面の写真)にも都電が走っていました

▲明治15(1882)年頃の旧新橋駅(後の汐留)前に並ぶ東京馬車鉄道。手前には馬が見えます

平成26年	平成23年	平成21年	平成19年	平成12年	昭和53年	昭和49年	昭和44年	昭和27年	昭和18年	昭和17年	昭和7年	昭和5年	昭和2年	大正15年	大正13年	大正11年	大正2年	明治44年	明治39年	明治15年
10月 都電荒川線 命名40周年	10月 都電荒川線 33年ぶりの花電車	8月 東京都交通局・都電荒川線100周年	5月 「下町都電」資料館 開館	4月 新型車両8800形 運行開始	5月 荒川電車営業所内「都電おもいで広場」開設	5月 トロリーバス営業開始。区内では明治通りを走っていた	12月 地下鉄千代田線開業	5月 トロリーバス営業開始。区内では明治通りを走っていた	7月 東京都都庁舎(東京市電氣局)から東京市電氣局に改称	2月 王子電氣軌道(株)、東京市電氣局に統合	10月 荒川区発定	3月 王子電氣軌道 終点早稲田まで延長	7月 現在の町屋駅前停留場開設	8月 現在の宮ノ前停留場開設	3月 現在の荒川電車営業所開設	3月 現在の荒川遊園地前停留場開設	4月 現在の三ノ輪橋・荒川区役所前・荒川二丁目・荒川七丁目・三丁目・熊野前・小台・荒川車庫前の各停留場開設	8月 東京市電氣局を吸収し、東京市電氣局創設	9月 東京市電氣局創設	6月 東京市電氣局創設

▲都電の歴史がわかる資料や鉄道模型(Nゲージ)の運転も体験できる、下町都電ミニ資料館。あらかわ遊園内にあります

▲新型車両9000形はレトロなデザインで、乗る人も見る人も楽しませています

▲運転手と車掌と2人で運行していた都電が、ワンマン化(運転手のみで運行)する際、記念の装飾電車と花電車が走りました

▲電気を動力源に走るトロリーバスは昭和27(1952)年から昭和43(1968)年まで4系統が都内を走っていました

▲昭和20年代後半の三ノ輪橋停留場。王電ビルの上から撮影したもので、遠くの景色まで見えます

▲明治44(1911)年の銀座の様子。この頃から銀座は東京の中心でした